

第4回運営委員会 議事録

日 時：2024年9月1日(日) 16:00~18:00 会事務所およびスカイプにて

出席者：宇野康、逢坂、岡田、川井、河尻、久貝、黒川、毛戸、小嶋、佐々木、田崎、田中
武、長尾、永末、中村依、原田、八重垣、西田、野々脇、
19名/23名・・・成立

1. 各部からの報告

(1)山行部

・JRO/ココヘリの体制変更、労山基金の変更により、KCAC 保険指針を修正・更新する必要あり。→事務局にて、修正対応を行う。なお、労山基金については口数よりも遭難対策費金額を主とした記載とする。例“遭難対策費 XX 百万以上 (XX 口相当)”

・民間保険の場合、ハイキングまでしかカバーしていない保険があるため、岩登り入門、沢登り入門、中級雪山(アイゼン、ピッケル使用)を行う会員では加入保険について要注意。

(2)教育部

・槍ヶ岳修了山行の報告：全員無事に登頂、役割分担やペース配分に今後の検討課題。

・夏山登山教室の謝金(5000円)を払う人の基準を運営委員会で決めてほしい。

→謝金を支払うのは、役割者(CL、SL、班長)に加え、教育部が指定するスタッフを対象とする。

・情報共有について：教育部の例会、講座、実技トレーニングで作成したファイルを、Google ドライブを活用して共有する。

・夏山登山教室講座、講座実技担当者に謝金1000円を支払いする

・会員代 CL 用名簿に教育部講座修了者のデータが入力されていない。教育部、山行部の担当者(1~2名)も更新できるようにする。

(3)ハイキング部

・ハイキング部会にて、ステップアップ講座を受講し CL デビューする会員は6mm、10m以上のロープを携行するものと定めた。

(4)事務局

・8/18、六甲山での一般登山者の遭難についての探索(ボランティア)を、兵庫県連の呼びかけに応じて神戸中央山の会の会員も参加した。自家用車数台を用いた交通費について、県連からの支出をまずは要請する。県連で支出されない場合は会の会計から支出する。

→9/10 県連に支出要請したものの、支出されないとの判断であった。

(5)自然保護部

・9月1日のクリーンハイクの報告。参加者ビジターさん含めて約50人参加、雨あがりのため渡渉と土砂崩れを心配し、コースを稲妻坂、天狗道で掬星台を目指した。湿度が高かったせいもあり、途中5人がリタイアした。対応としては、各々が日頃から体調管理に務めて参加すること。自分の体調と天候を含め自己の判断で参加決定のこと。スタッフもこれまで同様、参加者の体調に配慮すること。

(6)機関誌部

・新例会案内フォームを8月作成の12月分から導入開始。フォームなどのリンクや要領は、資料室にマニュアルを掲載している。

2. 入退会者

入 会： なし 退 会： 穀内聡子、森本友美
会員数：155名（男73名、女82名）

3. 45周年記念行事

・記念山行の準備状況：57名申込 参加申し込み締め切りを9月末まで延長する。
・Tシャツ制作の進捗状況：追加申し込みは50枚以上となった。

4. 県連への協力体制について

・「会の検討会」への参加・・・9/25（水）三役が出席、事務局長が資料作成
・六甲全山縦走について：①一般受け入れ人数は、昨年と同様に100人とする。

5. 森の文化祭参加計画

・スタッフを定め、今後、具体的につめていく

6. 次回の日程

10/6(日)16:00 会事務所にて